



先月はお正月明けということもあり休みの間の楽しかったことをお友だちとたくさん話しました。そして本格的に発表会に向けて劇あそびと合奏の練習もスタートしています。

劇あそびは、はじめにセリフに沿ったお話をみんなに聞いてもらい配役を決めてから、一緒にセリフ合わせをしていきました。約1か月しているのですが、自分のセリフをほとんど覚えたお友だちや「このセリフはまかせて！」と言わんばかりに同じ役のお友だちと声を合わせて大きな声で言っている子もあり、担任も本番を楽しみにしています。

合奏は保育園ではほぼ初めて使う木琴に挑戦しています。昨年度のタンバリンや鈴などで行ったリズム打ちをベースに、今年度は叩く場所が複数箇所あるため、

「赤・休・赤・休・青・青・青・休」のように色分けした部分を音楽に合わせ叩いています。「上手にできたよ！」とこれも自信満々に叩いているので、保育室やプレイルームに良い音が響いています。

また1月の最後に大阪こども専門学校よりご招待を受け、お兄さんお姉さんの発表会を見に行っています。子どもたちには自分たちの発表会に向けても良い刺激になったのではと思います。



靴棚のお掃除始めました

2月の制作集!

きりん組さんにお手伝いしてもらうことを増やしています。1月から自分の下駄箱を箒できれいに掃除するお仕事をお願いしました。今まではどう組さんがしてくれていましたが、また1つ身の回りのことにみんなで目を向け意識できるようにするために頑張っています。



カバディ ブーム中

版画体験しました

今きりん組で密かに、はやり始めています。本競技のルールとは違う部分もありますが、鬼役はお友だちをつかまえるまで常に「カバディ」と声を出しながら追いかけてはならないため普通の鬼ごっこより鬼役がとても疲れる遊びです。発表会に向けて声を出す練習にもなり、みんな率先して鬼役を名乗り出てください。

2月の掲示作品は画用紙で型を切り貼りし、雪だるまの版画に挑戦しました。型の上にローラーで絵の具をつけ手作りバレンで押し刷っていきました。画用紙のちょっとした凹凸でも目鼻の部分がよくわかる作品となっています。

